

令和6年度 昭島市立清泉中学校

技術・家庭(家庭分野) 年間指導計画、評価規準「第3学年」

学期	月	時数	単元名と内容	単元のねらい	観点別評価規準(主たるもの)		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	2	○ガイダンス ○今の自分とこれまで、これから	○自立と共生に向かって、3年生の家庭科の授業内容を確認する。 ○乳幼児期への関心をもつ	○3年後に成年になる意味を理解できる。	○自分や周囲の子どもたちの成長過程をイメージし、乳幼児との関わり方について考えている。	○3年生の授業で身につけたいことを、具体的に考えている。
	5	1	○幼児の心身の発達	○幼児の発達や生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割がわかる。	○幼児の心身の発達過程と特徴が理解できる。	○幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○幼児の発達について理解するための課題に、意欲的に取り組もうとしている。
	6	2					
	7	1	○乳幼児の発達と遊び	○乳幼児がいろいろな遊びで育つ力について考える。 ○乳幼児のためになる遊びについて発表する。	○遊びによって身につく能力について知り、意義を理解している。	○幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方などについて考えることができる。	○自分の意見を発表し、学級で出てきた様々な視点について考察している。
	9	2					
2	10	2	○発達にとっての大人の役割	○家族と幼児の生活に関心をもてる。 ○幼児の観察などを通して、遊びの意義について理解する。	○幼児の発達を支える大人の役割について理解している。	○乳幼児の発達に応じた遊びの、安心安全を考えている。	○幼児の遊びについて関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
	11	1.5	○子どもの成長と地域	○子どもの成長に関わる地域の取り組みを知る。	○地域にある施設や仕組みについて理解している。	○家族、幼児の生活又は地域の生活の中から課題を設定し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、家庭や地域などで実践できることを具体的に考えている。
	12	1					
	1	2					
3	2	2	○多様な人々が暮らす地域	○多様な人々が暮らすための社会の工夫を理解する。	○家庭生活は、地域と相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働することや介護などの関わり方について理解する。	○自分の意見をまとめ、仲間との意見交換ができる。	○これからの自分と家族、自分と地域などの関わり方について、よりよくするためにできることを進んで考えようとしている。
	3	1					

合計17.5時間	評価方法	・実技テスト ・課題 ・定期考査	・レポート、プレゼン ・課題 ・定期考査	・ワークシートの記入状況 ・課題への取り組み
----------	------	------------------------	----------------------------	---------------------------